

家庭学習の手引き（生徒用）

～さあ、今日から家庭学習をはじめよう～

飯能西中学校では昨年度から、“全校で”家庭学習に取り組んでいます。授業で習った事を、その日のうちに復習することで、定着につながります。「わかる→できる」ようにするためにも、家庭学習を始めましょう。

【家庭学習ノートのメリット(こんなに良いことがある)】

- ①基礎力がつき、毎日の授業がよく分かるようになります。
 - ②授業で、何が分かっていて、何が分かっていないのか、学習段階が把握できます（分からないことは、さらに先生や友達に聞き、解決につながります）
 - ③時間を効率よく使う意識が自然と身につきます。
 - ④毎日継続することで、自信がついてきます。
- 将来の進路（夢の実現）につながります。

☆**ひと勉(ひと勉強(家庭学習))とは**
…何を勉強するのかを自分で選んで決めてノートにまとめる学習
→ある先生曰（いわ）く、「ひと勉の習慣のある子とない子では受験期にはっきりと差が出てくる。与えられた課題をこなすだけでなく、考える力を備える必要がある。高校受験では自学力も大きな鍵となる」

◆学校では

1. ノートを1人1冊配ります（2冊目からは各自で用意して下さい）。
2. 毎朝、担任の先生に提出してください。
（提出の仕方については、担任の先生の説明をよく聞いて下さい）
3. 担任（学年）の先生がチェックをし、帰りの会で返却をします。

◆家庭では“何を”“どのように”やるか？

4. 原則、毎日行います

まずは、家庭学習の習慣を身につけることが第一の目標です。“習慣”とは、やる日とやらない日がある、というのではなく、毎日やることで、身につくものです。今日からは家に帰ったらすぐに①宿題を仕上げる、②家庭学習をする、の順で取り組みます。“やって当たり前の状態”にすることが大事です。したがって、土日も取り組みます。1日たったの20分程度です。「継続は力なり」です。

※ポイントは、「毎日決まった時間になったらノートを広げる」ということで、決まった時間というのは、「家に帰ったらすぐ」というのが最も良いです。

5. 原則、宿題（先生が出した課題）ではなく、「自分で取り組んだもの」とします。

家庭学習というのは、いわゆる“自主学習”です。ここで自主学習というのは、「自分で決めた何か」をするのであって、「今日は気が向いたから自主的に勉強しよう」、という意味ではありません。

※但し、「〇月〇日までの宿題とします」というものを、毎日コツコツと1ページ（それ以上もちろん可）ずつやるのはOKとします。

6. 原則、ノート1ページ以上

授業のノートをもう一度、家庭学習ノートに書き写しながらまとめてみる、参考書をまとめてみる、漢字練習、単語練習、計算練習をする、など内容は各自で決めてOKです。自分で買った問題集を1ページノートにやる、等々、工夫してください。何をやったらいいかわからない場合は担任の先生や教科担当の先生に相談するとよいでしょう。授業中に家庭学習のヒントをもらえることもあると思います。友達がどんな家庭学習をしているのか話をしてみたり、ノートを実際に見せてもらうのも良いでしょう。不得意な教科を克服するために、例えば、毎日数学を半ページはやる、とか、月曜日は国語、火曜日は数学、というようにバランスよくやるのもよいです。一番良いのはその日に習った事の復習やまとめ、授業に関連する問題を解くことです。

7. ワーク1ページ分（もちろん1ページ以上でもOK）でもよしとするもの

ワークを1ページやってきたものの、朝、担任の先生に出してしまうと、授業中、ワークが無くて困ります。そうならないために、各教科担当の先生にあらかじめ聞き、表にまとめてみました。よく確認して、まちがえて出さないようにしましょう。

○…家庭学習として担任の先生に出して良いもの

×…家庭学習として担任の先生に出しては困るもの（出してしまうと、授業の時に困る）

	1年	2年	3年
国語	×教科書 ×授業ノート ×資料集 ○漢字練習ノート&語句ノート ×すらすら文法	×教科書 ×授業ノート ×語句ノート ×すらすら基本文法	×教科書 ×授業ノート ×資料集 ○語句ノート ×すらすら文法
数学	×教科書 ×授業ノート ×ワーク ×計算練習	×教科書 ×授業ノート ×ワーク	×教科書 ×授業ノート ○ワーク（但し 授業優先 ※で）
英語	×教科書 ×授業ノート ×ワーク	×教科書 ×授業ノート ○4線ノート ○ワーク	×教科書 ×ノート ×4線ノート ×ワーク
理科	×教科書 ×理科ノート ○ワーク	×教科書 ×理科ノート ○ワーク	×教科書 ×理科ノート ○ワーク
社会	×教科書 ×授業ノート ○ワーク（但し 授業優先 ※で） ×白地図	×教科書 ×授業ノート ○ワーク（但し 授業優先 ※で） ×白地図	×教科書 ×授業ノート ×資料集 ○地理のワーク（但し 授業優先 ※で） ○歴史のワーク（ 〃 ）

※授業優先とは…

→授業があるときは、担任の先生に提出するときに、朝、「授業があるので、授業後に提出します」の一言を言う、あるいは、朝のうちに、1ページ分、担任の先生にやったことを見せて、チェックを受ける、あるいは、授業後すぐに担任の先生に持って行く（出し忘れたら、忘れになってしまうので注意）

【取り組みのポイント】

- ①日付、何を勉強するのかタイトルを必ず書く（教科書○ページの意味調べ、テスト問題の復習、教科書の作品名、単元のタイトルなど、できるだけ具体的に勉強する“めあて”を書く）
- ②鉛筆を正しく持ち、背筋を伸ばして座る。文字は丁寧に書く。
- ③ドリルは“時間を計る”、“かかった時間を書く”。※計算問題（速さと正確さ；制限時間を設ける）
- ④必ず丸つけを。間違ったところは、もう一度挑戦。
- ⑤学習の振り返り（感想や反省を書く）。
- ⑥始めた時間、終わった時間を書く

【取り組みにあたってのヒント集】

- ・授業内容を復習 ・苦手な漢字の書き出し ・暗誦の成果をノートに書き出してみる ・作家について調べる
- ・プリントやドリルの答えは自分で○つけ。間違いはやり直すことを徹底する。 ・図にして問題を解く ・表の活用 ・太字や色、囲みを使うと一目でわかる。 ・自作事典をつくる ・絵を描くとイメージがつかみやすい（理科など） ・（例えば）地層を色分けして見やすく ・全国の特産物調べ ・身近なテーマを取り上げる ・クイズ形式で楽しく ・家族からの出題に答える 新聞のコラムの書き写しや記事の要約（自分なりの感想や意見をまとめるのもよい）』 絵や文章を組み合わせで自分で問題を作る 授業で習ったことについて自分なりに調べ、まとめる 資料の活用（グラフや表にまとめる）

※友達とページ数を競う ※友達との会話にて「今日、家庭学習何やった？」

【部活動との両立】

- ～部活は絶対にやめたくないから、勉強もちゃんとやるようにしよう！～と、友達と約束する。
- ・（家庭学習を）家に帰ったらすぐやって、それから遊びに行く。友達同士で「そうしよう」って決める。

☆習慣とは…「やるのが当たり前」というくらい毎日の生活に溶け込んでいるもの。声をかけなくても、きまった時間になるとノートを広げている状態。